

【考え・基礎知識】

友達とのトラブルは身近にあるものであるが、よりよい友達関係をつくっていく必要があることが分かる。

【つながり】

相手の気持ちや立場を考えながら、互いに学び合い、高め合うことの大切さについて自分との関わりで捉えている。

【応用・ひろがり】

相手の気持ちや立場を考えながら、互いに学び合い、高め合うような友情を育もうとする意欲を持つことができる。

- ◇ 学年 第5学年
- ◇ 主題名 たがいに信頼し、学び合って (内容項目 B 友情, 信頼)
- ◇ 本時のねらい トラブルの原因が自分のメールだと気付いたみかの思いを考慮を通して、相手の気持ちや立場を考えながら、互いに学び合い、高め合うような友情を育もうとする態度を育てる。
- ◇ 教材名 「知らない間の出来事」(出典:「私たちの道徳 小学校5・6年」 文部科学省)
- ◇ 学習の流れ(1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (主な発問 (○), 中心発問 (◎), 予想される児童の発言 (・))	評価 (評価方法)	
1 課題意識をもつ。 ・友達との関係について、想起する。 ○友達関係をつくるときに何が大切なのだろうか。	◇「今までに、友達との関係で自分の思いが正しく伝わらず、気まずくなったことはありませんか。」と問い、これまでの友達関係を想起させ、ねらいとする道徳的価値への方向付けとする。	「今までに、友達との関係で自分の思いが正しく伝わらず、気まずくなったことはありませんか。」と問い、友達とのトラブルは、自分の身近にもあることを想起させることで、課題意識をもたせる。	
2 教材「知らない間の出来事」を読んで話し合う。 ○どうしてこのようなトラブルが起きたのでしょうか。 ・みかがあゆみのことを考えず、勝手な思い込みでメールを送ってしまったから。 ・メールが様々な人を回るうちに内容が変わってあゆみに伝わったから。 ◇導入の自分の経験と関連させ、あゆみのことを考えていない自分本位なみかの行動が原因だということに気付かせる。 ◇情報モラルの視点から、メールが拡散することや内容が変わっていくこと等の怖さについても理解させる。 ○メールの内容を知ったあゆみは、帰りの会までどんな気持ちで過ごしていたでしょうか。 ・どうして私のことが間違った内容で勝手にメールに書かれるの。何も悪くないのに。 ・思い切って自分の思いを話した方がいいのかな、話したらみんなはどう思うのだろう。 ・このままでは仲間外れになってしまう。みんなと友達になりたいから自分の思いを言おう。 ◇メールの内容を知ってから帰りの会までのあゆみの心情を考慮することで、友達に対する怒りや不安、勇気などの様々な気持ちで揺れ動くあゆみに共感させる。 ◎あなたが自分の送ったメールが原因だと気付いたみかだったら、この後どうしますか。 ・電話番号を教えてもらったので、電話で自分の思いを伝える。 ・明日、学校に行って直接謝り、友達になりたいという気持ちも伝える。 ・謝りたい気持ちはあるが、あゆみさんにどう言えばいいかわからないので、黙っておく。			
3 導入で提示した課題について話し合う。 ○友達関係をつくるときに何が大切なのだろうか。 ・勝手な思い込みをせずに友達の気持ちを考慮して、声をかけたり、接したりすること。 ・様々な考えをもっている相手のことを理解し、自分の思いを伝えていくこと。 ・みんなを信頼し、学級全体で、高め合えるようにしていくこと。	◇「頭の中は、あゆみさんのことでいっぱいになった。」という言葉に着目させ、自分の軽率な行動を反省するみかの気持ちを考えさせるとともに、「自分だったらどのような行動をとるのか」と問うことで、自分のこととして考えさせる。 ◇ワークシートに書いた自分の考えを基に、ホワイトボードを活用し、グループで交流させた後、全体で、多様な意見を類型化しながら多面的・多角的に議論させ、みかとあゆみの関係だけでなく、学級全体で学び合って、高め合うような友情の大切さに気付かせる。		「つながり」を意識した展開の工夫
4 本時のまとめをする。 児童のまとめ例 私もみかさんのように勝手な思い込みで誤解を招くようなことをしていたと思いますが、今日の学習で、互いに相手のことを考えられるような友情を大切にして、学級全体で、高め合えるような友達関係をつくりたいと思います。	◇これまでの自分の友達との関わりについて振り返らせ、交流することで、友達関係をつくるときに大切なことについて納得解をもたせる。 ◇授業を通して考えたことをワークシートにまとめさせ、今後の自分の生き方につなげる。		あゆみとみかの気持ちを考えさせたり、相手の気持ちや立場を考えた対応について議論させたりすることで、「友達関係をつくるときに何が大切か」について考えを深め、ねらいとする道徳的価値について自分との関わりで考えさせる。
5 教師の話を聞く。	◇教師自身の体験談を話すことで、本時のねらいとする道徳的価値への実践意欲をもたせる。		・相手の気持ちや立場を考え、互いに学び合い、高め合うような友情を育もうとしている。 (発言・ワークシートへの記述)

「応用・ひろがり」を意識した終末の工夫